

「日本における『学校から仕事への移行』の諸問題」

本田 由紀

東京大学大学院教育学研究科准教授

講義概要

この講義では、近年における日本の若者の働き方の変化をデータに即して把握した上で、そのような働き方の変化が日本社会でいかなる論じられ方をされてきたか、そうした論じられ方にはいかなる問題が潜んでいるかを説明する。さらに、日本の若者の働き方が急激に変化した背景を、日本固有の要因と世界的な要因に分けて整理する。それを踏まえて、日本における「学校から仕事への移行」の現状をどのように変革すべきかを議論する。

In this lecture, I show data about recent changes in work conditions of Japanese youth, review discourses about such changes and explain problems of the discourses. Then I discuss origins of the changes of youth labor market in Japan, considering both factors specific to Japan and global factors. Finally I make some proposals about the possibility to reconstruct the 'transition from school to work' in Japan,.

参考資料

- * 本田由紀『軋む社会』双風舎、2008年
- * 本田由紀・内藤朝雄・後藤和智『「ニート」って言うな!』光文社、2006年
- * 総合研究開発機構『就職氷河期世代のきわどきー高まる雇用リスクにどう対応すべきか』NIRA 研究報告書、2008年